

必要ですか？

# 巨大風力発電

石狩市民はもっと議論しよう！

グリーンパワーインベストメント  
(GPI)

石狩湾新港に洋上風力発電所

## 14基建設 間近

### 8,000kW<sub>x14基</sub>

総出力112,000kW

高さ200mの巨大風車が  
新港に立ち並ぶ。  
空、海、陸、  
石狩の自然を打ちこわし  
札幌市市中にまで風車からの  
超低周波音・低周波音  
を撒き散らす。  
これによる健康被害を  
力を合わせて  
阻止しよう——



ムンク「叫び」1893

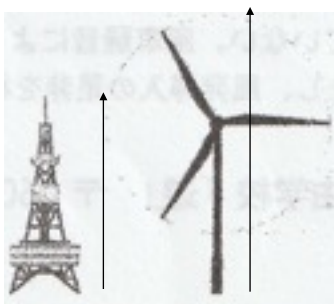
## 石狩湾新港と GPI 巨大風車群

(建設後のイメージ図)

さらに石狩湾沖には500基をこえる  
洋上風力発電事業の申し出がある



陸上では大小22基の各社の風車がすでに稼動中、さらに3基が…



札幌テレビ塔  
147.2m

海面から高さ  
約196 m

### 送電線陸上工事着工！

電線埋設工事が花川南防風林  
の西側道路で開始されました。

### 住民合意はいつされたのか？！

#### ●事業説明会が中止に！

事業者グリーンパワーインベストメント (GPI) はコロナを理由に事業説明会を中止。ホームページに説明資料を公開し、市民からの質問と回答のやり取りを実施するも、事業者側回答は不

十分。現在、われわれは対面の事業説明会の開催を要求中です。

#### ●累積影響の責任を否定！

GPIの環境影響評価書に示されている既設3,000kW級 (19基) の陸上大型風車群との低周波音の累積影響は札幌市手稲区・北区に及ぶと予

想されます。GPIは自社影響分は小さいとして責任を否定、責任回避しています。この事業を撤退させ、健康で安全な私たちの暮らしは守らなければなりません。皆さんの力をお貸しください。

石狩湾岸の風力発電を考える  
石狩市民の会



# 怖い低周波音被害。 住民の健康は守られるのか？



頭痛、帽子をかぶったような感じ

全身の圧迫感、手の痺れ、足がだるい

胸の圧迫感、息苦しい、めまい、吐き気

「不定愁訴」といわれる「体のどこが悪いのかはつきりしない症状」が多い。

また個人差が激しく、同じ家族の中でも一人が死ぬほど苦しんでいるのに、平気な人もいる。

よく眠れない、気分がイライラする

耳の圧迫感、痛み、ふさがり感

音は耳で感じるが「低周波音は脳みそで感じる」という被害者もいる。

肩の痛み、肩こり

## <お知らせ 1> 北海道新聞 (2020.9.1) 全道版

なお、要望書ならびに署名簿は北海道のほか石狩市、小樽市にも提出。後日札幌市にも提出する予定。

【写真】署名簿を手交する安田代表



**石狩湾の洋上風力 反対の要望書提出**  
市民団体  
石狩市や小樽市の市民団体などをつくる「石狩湾洋上風車建設反対道民連絡会」は31日、道に対し、石狩湾での洋上風力発電事業を推進しないことなどを求める要望書と、発電所建設に反対する約2500筆の署名を提出した。

道と両市が管理する新港の港湾区域では、グリーンパワーインベストメント(東京)が総出力9万9990kwの発電所の来春着工を計画。石狩湾の一般海域でも洋上風力発電を優先整備する国の「促進区域」指定を前提に、同社など5社が建設を計画している。連絡会の安田秀子共同代表は「騒音による住民の健康への影響は札幌市街まで広がる予測もある。漁業に影響が出ない科学的根拠はなく、事業は行っべきでない」とした。(水野可菜)

## 厚田

住民も困惑… 一体なぜ？

## 厚田区周辺に陸上風力発電計画が過剰集中 全5事業、最大51基

現在、厚田区とその周辺の民有林に風力発電事業の計画が集中し、信じられない数の風力発電機が建設されることをご存じでしょうか。厚田区は自然豊かで古くからの農家や福祉施設などがあり、この計画地周辺にもたくさんの方が暮らし、この環境を求め新しい移住者がいます。

最近の大型風力発電機は出力が増し、150mを超える高さの規模になってきました(札幌がテレビ塔の高さは147.2mです)。このような大型の機械が厚田丘陵に建つことにより、慣れ親しんだ自然豊かな環境や景観は一変し、風力発電機から発生する騒音・低周波音による住民への影響が懸念されます。全国的にも風車から数キロ圏内に風車騒音で眠れない人が出ています。会ではこれらの計画の進行状況を発信し、学習会の開催を予定しています。

## 私たちの思い…

電気は需要と供給のバランスが崩れると、停電につながってしまいます。風力発電は、風しだいの不安定な発電なので、安定的に電気を供給するために、常に火力発電を調整電力として稼働させています。また風力発電は1基当たりの発電量が少なく、発電効率も悪いため、たくさん建てなければなりません。羽根は再利用されず埋め立てられます。蓄電池も技術革新していますが、まだまだ高価です。私たちは原発にはもちろん反対です。風力発電を増やすことで海や森林の環境は大きく壊され、風力発電は本当にCO2削減となるのか、本当に地球にやさしいのか、電気の消費者としてしっかり考えていきたいと思ひます。

## <お知らせ 2> 11月学習会

～再生可能エネルギー関連事業の実態と人権～

霧島にあるメガソーラーの土砂災害、健康被害が発生した愛媛県での風力発電事業の訴訟問題、四万十川やさつま紫尾山の大規模風力発電計画などについて、人権の視点から学びます。

日時：11月29日(日) 13:30～15:30

場所：花川南コミセン(花川南6・5 ☎73-5300)

講師：市川守弘弁護士(泊原発訴訟、再エネ訴訟、アイヌ遺骨問題など弁護) 費用：500円(資料代他)

## <お知らせ 3> 12月洋上風車発電学習会

「石狩湾とはどういう海か、そして風車一暖流、寒流、河川水、それらの育む生態系および風力発電事業による二つの影響」海洋学等のミニ知識とともに、石狩湾を取り巻く気象・海洋・生態系および、風力発電機の設置による影響について学びます。

日時：2020年12月12日(土) 13:30～15:30

場所：石狩市花川北コミュニティセンター 2階視聴覚室

講師：河野時廣氏(東海大学生物学部海洋生物学科教授) 費用：500円(資料代ほか)

ご意見  
お問い合わせ

## 石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会

事務所：061-3211 石狩市花川北1条5丁目307 電話：090-6211-1602 FAX：0133-74-6198

メール：windturbine@lbcc-alumni.jp

ホームページ：http://windturbine.lbcc-alumni.jp/index.shtml

SNSも更新しています！ facebook、Twitterは「石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会」で検索